

職場九条の会共同行動実行委員会記者会見 4月3日

1. 共同行動実行委員会結成に至る経過

- 1月28日 産業・職場に基盤を置いて活動する九条の会に対し交流会開催をよびかけ呼びかけは、商社九条の会・東京、損保九条の会
- 2月11日 九条の会交流会開催 8会から18名が出席
各会の活動状況を交流するとともに、「岸田政権による大軍拡・大增税に反対し、日本が再び戦争への道を突き進むことを止める」ために、連携・共同することを確認、この事態を広く職場の仲間、市民に伝えるため、次の共同行動を決定した。
- ・ 共同ビラの作成
 - ・ 街頭宣伝署名行動 4月15日（土）午後
- 3月18日 九条の会交流会（第2回）開催 10会から19名が出席
各会の活動状況を交流するとともに、4月15日の街頭宣伝署名行動の具体化に加え、次の事項を決定した。なお、九条の会交流会の名称を職場九条の会共同行動実行委員会に改めることとした。
- ・ 実行委員会アピールの作成
 - ・ 記者会見開催 4月3日（月）午後

2. 実行委員会構成

海運九条の会（船舶・倉庫等海運関連会社社員や退職者）
外銀九条の会（外国銀行社員や退職者）
銀行九条の会（銀行社員や退職者）
出版OB九条の会（出版会社退職者）
出版流通九条の会（出版物等販売・流通会社社員や退職者）
商社九条の会・東京（商社社員や退職者）
生保九条の会（生命保険会社社員や退職者）
損保九条の会（損害保険会社社員や退職者、損害保険代理店）
千代田九条の会（千代田区内の学者・弁護士・学生および区民）
東京労金OB九条の会（旧東京労働金庫退職者）

3. 当面の行動内容

4月15日（土）街頭宣伝署名行動 14:00～15:00 新宿駅西口

4. 配布資料の説明

① アピール

- ・「安保3文書」で掲げた具体方針は、これまでとは次元が異なるものである。
従来は、個別的自衛権や専守防衛を前提とし、自衛隊の海外派兵についても PKO＝平和維持活動や後方支援という限定的なものだったが、今回は集団的自衛権の実践発動、先制攻撃を可能とし、さらに先制攻撃により相手国から日本の基地や軍事施設等が攻撃された場合を具体想定しています。そして、莫大な軍事予算のもと実戦装備・対策を行うとともに、政府機関、自治体や企業、研究者など、文字通り「国家総動員体制」を構築しようとしている。私たちはま

ず、こうした戦争準備、戦争がこの日本で現実的なものになるという危機感について、周りの人々と共有したいと思います。

- ・同時に、こうした日本国の針路に係る重大方針が閣議のみで決定し、国会での議論を後回しにし、国民への説明の前に対米公約してしまうという、岸田政権の憲法違反で、かつ、民主主義・立憲主義破壊の暴走に改めて抗議するものです。
- ・こうした事態に直面し、私たち職場九条の会は結集いたしました。九条の会は、2004年6月に、大江健三郎さんや井上久さんら著名な学者・作家の方々が、日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ改憲の企てを阻もうと呼びかけたものです。その後、全国隅々の地域で結成され今日も活動を続けています。私たち職場九条の会は、地域ではなく、産業・職場に基盤をおいて活動してきた九条の会ですが、どのような産業、企業の営みも、平和であってこそ成り立つものであり、産業・企業に携わる現役の社員や関連会社の方々、かつてそこに身を置いてきた退職者の方々やご家族の方々に、この由々しき事態をお伝えし、戦争はダメ、いまやるべきことは戦争を防ぐ外交と平和の枠組み構築を、とともに声をあげ行動しましょうと、働きかけてまいります。
- ・今日の記者会見で、そういう私たちの思いをマスコミのみなさまにお伝えするとともに、産業・職場を基盤とする全国の九条の会の皆さまに、ともに力を合わせていこうと呼び掛けるものです。
- ・当面、4月15日（土）午後には、新宿西口において、職場九条の会共同行動として、街頭宣伝行動を実施します。

② 共同ビラ

- ・その際にお手元にある共同ビラを配布します。まずは、戦争はダメ！を押し出し、岸田政権が押し進めている大軍拡の内容と、それが日本を戦争に巻き込む大変危険なものであることを伝えていきます。

③ 大軍拡・大增税に反対する請願署名

- ・また、その場で大軍拡・大增税に反対する請願署名に取り組めます。この署名は、すでに多くの団体・個人で取り組まれている者ですが、先ほど申し上げた私たちの産業と職場の仲間の皆さま、ご家族や友人に対しても取り組んでいきます。

以 上